

圏域	阪神北圏域
会議	地域医療構想調整会議 平成28年度 第1回
日時	平成29年3月16日(木) 14:00～15:30
場所	宝塚医療会館(宝塚市小浜4丁目5-4)
司会	末岡悟(宝塚市医師会長)
出席者	構成員34名(代理出席含む)
議事次第概要	<p>1 阪神北圏域地域医療構想圏域調整会議の運営について (1)議長等の選出 (2)会議の公開・非公開について</p> <p>2 議事事項 (1)病床の機能分化・連携の推進について(資料4) 医療介護総合確保基金「病床機能転換推進事業」 (2)在宅医療の充実について 報告「阪神北圏域における在宅医療に関する将来の需要と供給調査結果」(資料5) 各市町「医療介護連携推進事業の進捗状況について」(資料6)</p>
内容	<p>1 病床の機能分化・連携の推進について説明(資料4) 医療介護総合確保基金「病床機能転換推進事業」 2 在宅医療の充実について説明 報告「阪神北圏域における在宅医療に関する将来の需要と供給調査結果」(資料5) 各市町「医療介護連携推進事業の進捗状況について」(資料6)</p> <p>【意見】 ・(病院の訪問看護、訪問リハビリテーションの取組)回復期リハは入院期間が決まっており一定期間で退院せざるをえず、在宅復帰後もリハビリの希望は多い。在宅復帰を考える医療機関として、回復期病棟でのリハビリに加え、退院後3～6ヶ月頃に様々な問題で再入院が多くなるので半年間は病院の責任として訪問リハを実施している。一般に訪問リハは介護保険で行っている。 ・「在宅医療・介護連携支援センター」設置は、基金事業としては却下されたが、医師会は重要事業として設置場所の提供等、かなりの思いと負担で取組んでいる。</p> <p>【主な質疑】 (委員)保健医療計画改定に向けて、医療圏のこと、改定の今後のスケジュールはどうか。 (兵庫県)国からのスケジュールが未だ示されていないが、夏頃に各圏域にひな形を示し、年内を目処に素案を作成、年始以降にパブリックコメントというスケジュールか。内容は5疾病5事業と在宅医療については変わらないが、介護保険計画も改定となるため整合性も図る必要がある。 (委員)県は在宅医療の受け皿として老人保健施設や特別養護老人ホームの設置を推奨しているのか。 (事務局)県として特養等の新設は見込んでいるものの、全てを施設でということは難しく、在宅医療の整備は必要である。介護保険料や施設計画も関係してくるため、各市町の考えも把握する必要がある。</p>
協議が調った事項	<p>1 宝塚市医師会末岡会長を議長に選出 2 川西市医師会藤末会長を議長代理に指名</p>
次回以降の予定	未定